

[単体情報]



営業の概況

当中間期における業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、海外金利の上昇及び運用残高の増加により資金運用収益が増加したことなどから、前年同期比208億40百万円増加して1,109億31百万円となりました。一方、経常費用は、海外金利の上昇により資金調達費用が増加したことなどから、前年同期比155億44百万円増加して693億36百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比52億96百万円増加して415億95百万円、中間純利益は前年同期比50億32百万円増加して291億19百万円となりました。

主要な勘定残高につきましては、譲渡性預金を含めた預金等は前年度末比632億円増加して7兆123億円、貸出金は前年度末比342億円増加して5兆7,017億円、有価証券は前年度末比455億円減少して2兆151億円となりました。